

報道関係者各位

2022年11月7日
株式会社浜野製作所・墨田区

大企業からスピンアウトした電動の三輪モビリティを開発するスタートアップが、東京都墨田区のものづくり支援施設で量産に向けた開発をスタート。町工場のスピード感・技術、墨田区が提供する130㎡の開発スペース、区内で実施する実証実験を通して、安心できるモビリティの社会実装をめざす。

金属加工、ロボット・装置の開発設計、製造を行う株式会社浜野製作所（東京都墨田区、代表取締役 CEO：浜野 慶一、以下浜野製作所）と墨田区（区長：山本 亨）は、安心して利用できるモビリティの社会実装に貢献するため、独自のシステムを持つ電動マイクロモビリティを開発する株式会社ストリーモ（東京都墨田区、代表取締役：森 庸太郎、以下ストリーモ）の製品開発を支援します。ストリーモは、2022年11月1日に墨田区内に本社を移転し、浜野製作所が運営する新たなサービス開発に挑戦する事業者を支援する拠点「Garage Sumida（ガレージスマダ）」と墨田区が提供する量産段階のスタートアップを支援する施設「東墨田ラボ」で高速開発を進めます。



130㎡の開発スペースをもつ「東墨田ラボ」でストリーモは開発を行う

1. 支援の背景

ものづくりを通じて新しいサービス開発を行う新規事業者が持つ課題には、次のような点が挙げられます。

- ① 本格的な量産試作に向けての設計・製造に関わるノウハウの獲得
- ② 量産開発フェーズにおける物理的なスペースの確保
- ③ 量産試作機の実証実験を行える場所

今日まで浜野製作所は、ハードウェアを用いて社会課題の解決に挑戦する新規事業者を対象に、2014年にものづくり支援施設「Garages Sumida」を墨田区の助成を受けて開設し、自社が持つ金属加工技術や加工業者等とのつながりを活用した幅広い技術を提供することで、第1の課題に積極的に取り組んできました。この活動の中で得られた知見をもとに、墨田区は第2、第3の課題にもアプローチすべく「ハードウェアスタートアップ拠点事業」を立ち上げ、2021年12月に総面積約165㎡（開発スペース：約130㎡、休憩室：35㎡）の「東墨田ラボ」を開設し、そこで開発された製品の実証実験の実施協力などを通してスタートアップ支援の強化を図っています。

今回はGarage Sumidaに本社を移転して東墨田ラボで量産開発を進める初のスタートアップとしてストリーモを支援し、ひいては同社が志す社会課題の解決にも貢献していきます。

2. 今後の展開

ストリーモは、2022年6月13日より実施した国内一般消費者様向けの抽選販売において、申し込み開始から48時間にて予定販売数の4倍にあたる1,200件の申し込みがありました。これを踏まえ、今後のさらなる量産に向けた製品開発の支援を行います。また、2022年度内に墨田区内で試乗を伴う実証実験の開催をめざします。

3. 株式会社ストリーモ 代表取締役 CEO 森 庸太郎 氏のコメント

創業時から試作支援をいただいている浜野製作所、そして墨田区のご支援を受け、このたび墨田区に本社を構え、量産に向けた開発力の強化を行ってまいります。これにより、Striemoをより多くのお客様にお届けできる体制が整います。我々の「Striemoによって世界中の人の暮らし・移動を豊かにする」というミッションを共に実現してまいります。



ストリーモは世界初の「バランスアシストシステム」により、停止時も自立が可能。
「安心感」を第一とした新たな移動体験を提供する



町工場の職人との擦り合わせが容易な環境の下で開発をすすめる

株式会社 ストリーモについて URL: <https://striemo.com/>

2021年創業。「安心感」を第一とした新たな移動体験を提供する電動マイクロモビリティ「ストリーモ」を開発する、本田技研工業株式会社の新規事業開発プログラム「IGNITION」からスピンアウトしたスタートアップです。モビリティの開発経験を積んだエンジニアによる、「自立・安定（人がもつ自然な反応を活かした世界初の「バランスアシストシステム」により、停止時も自立し、極低速から快適な速度まで転びやすく安定した走行が可能）」、「バランス取りの不安感軽減（石畳や轍(わだち)、傾斜でも進路や姿勢を乱されにくく、ユーザーは走行時のバランス取りの不安を軽減できる）」、「人や他の交通手段との親和性（ふらつきにくく、足をつかずに停止できるため、車道の走行速度だけでなく、歩行速度での移動でも歩行者・他の車両とも互いに安心して走行できる）」といった機能を実現した品質の高いモビリティの実現に注目が集まっています。

株式会社 浜野製作所について URL: <https://hamano-products.co.jp/>

1978年設立。資本金2,000万円。従業員数50名(2022年10月現在)。金属加工の技術力を軸に、ロボットやIoTデバイスなど、先端技術を用いたプロダクトの設計・開発・製造支援をしている町工場です。金属の複合加工(精密板金加工・金属プレス金型製作・機械加工・溶接などを組合せた製品製造)において高い技術を持ち、デジタルファブリケーション機器を備えるインキュベーション・コワーキングスペース「Garage Sumida（ガレージスミダ）」を運営しています。これまで分身ロボットを開発する株式会社オリィ研究所、電動モビリティを開発するWHILL株式会社、台風でも発電可能なマグナス式風力発電を開発する株式会社チャレナジーなどの社会課題の解決を志す事業者のものづくりを支援し、日々新たなチャレンジを続けています。

墨田区のハードウェアスタートアップ拠点構想について URL: https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo_jigyosya/sangyo/monodukuri_sien/index.html

墨田区では、新たな経済の担い手となり得るスタートアップ企業の集積を加速し、区内企業との連携を促進する取組を進めています。製品開発の場として、「東墨田ラボ（墨田区東墨田二丁目12番9号 東墨田会館1階）」のほか区内工場アパート内にベンチャー用ラボスペースを整備するとともに、製品やサービスを試作段階から活用する「プロトタイプ実証実験支援事業」を実施中です。また、区内に10拠点を整備した「Garage Sumida」などの「新ものづくり創出拠点」で、ものづくりのイノベーションによる産業振興に力を注いでいます。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 浜野製作所 経営企画部:佐藤麻耶

TEL: 03-5631-9111 E-mail: koho@hamano-products.co.jp

墨田区 産業観光部 産業振興課

TEL: 03-5608-1437 E-mail: sangyou@city.sumida.lg.jp